5月12日は看護の日

看護週間　5月10日～5月16日

看護の日とは・・・

21世紀の高齢社会を支えていくためには「看護の心」「ケアの心」「助け合いの心」を看護をする私たち一人ひとりが、分かち合うことが必要です。こうした心を、老若男女を問わずだれもが育むきっかけとなるよう1990年に『看護の日』が制定されました。5月12日の由来は、フローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなんでいます。

当院では、すべての患者さんがその人らしく、安心して治療を受けられるよう取り組んでいます。また、看護をする私たちは、日常のケアだけでなく、がんという大きな困難に直面した患者さんや家族を支える「専門の看護」にも力を入れています。今回は、当院のがん看護専門看護師について、ご紹介します。

一人ひとりの患者さんへ、より深く専門的に応えるために

がん看護専門看護師が3名在籍しており、
患者支援センター・がん相談支援センター、緩和ケア病棟、緩和ケアチームで
活動しています

私たちは患者さんのからだや気持ちのつらさを
お薬やお薬以外の方法で和らげます

治療や療養について、迷いや葛藤があるとき、
納得できる選択ができるよう支援します

患者さんが抱えるお仕事に関する課題を
キャッチし、適切な相談先へ橋渡しを行います

患者さんだけでなく、ご家族が抱える不安や
悩みを和らげられるよう支援します

療養場所が病院からご自宅に変わっても、
継続して適切な医療や支援が受けられるよう、
地域の医療者と協力します

お問い合わせ

<u>がん相談支援センター</u>

受付時間：平日9時から17時

窓口：がん患者支援センター２階相談窓口

電話：073-441-0778・0779

<u>がん看護相談外来</u>

相談時間：平日9時から16時（予約制）30分～60分/回

予約方法：初回は主治医か看護師に「がん看護相談外来」希望とお伝えください。

場所：1階薬物療法センター内

費用：医療保険の適応となります